

中間答申案についての意見 と 議会活性化項目の検討優先順位

無所属 西村裕子

タブレットや電子会議システムなどの導入による具体的な市民益についての議論が委員会内でされていないことと、タブレットなど ICT の活用が難しい議員について、導入時に研修を実施することで問題が解決するのか疑問が残る。

以上のことから、平成30年度以降の早期の導入 ありきの答申ではなく、設置する委員会で、導入時期・内容と同時に、タブレットや電子会議システムなどを導入することによる市民益について十分な議論・検討をするように答申で位置付ける必要があると思う。

またタブレット端末の導入に積極的で、ICT に詳しい議員による専門の委員会の設置を答申案で求めているが、早期のタブレット端末導入に対して慎重な立場の議員（市民益の具体化やタブレットを使用する当事者としての戸惑いなど）の意見が反映されるためにも、導入に慎重な立場の議員も専門の委員会に参加できるようにするべきだと思う。

検討項目3番のうちの検討順位について

1、委員会のインターネット中継 2、委員会審査の充実 3、予算・決算審査のあり方の順番での検討を希望。

1、委員会のインターネット中継は市民の要望が多い。タブレット端末の活用と並行して検討すれば、より議会の ICT 活用について具体的な議論ができるのではないかと。